

どうもよっしです。

無在庫カメラ転売ということで、進めてきましたが、今回は扱う商品など、より深くご説明して参ります。では行きましょう。

1、新品, 中古かどちらを扱うべき？

2、レンズの種類について

お伝えしていきます。

新品カメラと中古カメラどちらを扱うべき？

まず新品か中古か、ということですがどちらでも大丈夫です。

カメラボディ、カメラレンズ、バッテリーグリップ、ストロボ、アクセサリ関係などなどこういったものも扱っていきます。

仕入れ先を抑えておくことで仕入れは完了しますので、こういった商品を扱っても大丈夫です。

ですが、やはり得におすすめなのは人気商品と言える、カメラのボディとレンズ、ですね。

特に最初は徹底的にこなしていきましょう。そして商品数、資産を増やし続けて利益を出しやすくし、有在庫のカメラ転売に移って行かれるのがイイです。

無在庫転売はポイントを押さえ行動さえできると誰でも稼げます、有在庫の場合は、まず仕入れがあることが参入障壁になりますが、無在庫は金銭的なリスクがないため、比較的参入しやすいです。

商品数も増えますし、ヤフオクでより回転率が高くなります、1円出品などでは明日には売れてしまう、という感覚です。

コチラの方がガンガン、そして大きな利益を生んでいけますので、有在庫は近い将来に、必ず実践されてみてください。

ということで、**まず無在庫カメラ転売は中古カメラを扱っていきましょう。**

理由としては、

新品より安い

中古市場は新品市場より価格変動が少ない

母数大きい

値幅が広く、利益がとりやすい

出品数が増えてくれば徐々に資産が増え売れる

などなどが挙げられます。

電化製品、家電ですが、パソコンなども新しい型がどんどん出てきますよね、1個前の型の何かが悪くなったなどではなく、とにかくどんどん新しい商品が世に出されます。

そうなるとう必然的に新品であっても、少し古いものの価格は下がります。ジリジリと下がってくるわけですね。

ですが中古の商品は新品の型落ちとは違い、値段が下がりにくく値崩れしづらい傾向にあります。

中古のやや古いレンズやボディ、マニュアルフォーカスレンズなどはほぼ値段が変わらないので、Amazonの値付け変更をしなくていいことも多々あるくらいですね。(新品マニュアルレンズは生産されていない)

Amazonに中古をガンガン載せて、扱って資産を増やしていくのがイイですね。

また、流通している中古の商品数も多いので
その点もメリットになります。新品より中古商品の方が規模が大きいですね。

当然新品の商品よりも中古の商品の方が安いので、商品が売れてからの仕入れのリスクも下がります。無在庫転売のメリットである、販売後、利益が確定した後仕入れる、ことができます。

新品だと数万、数十万円する商品をクレジットカードで仕入れる、となると数が増えると大変ですが、中古商品は当然値段が下がりますので、販売後の仕入れ、もハードルが低くなりおすすめですよ。

中古カメラは、中古というだけあって、カメラの状態が重要になってきます。カメラボディに傷はないか、へこみはないか、レンズには、キズ、くもり、カビ、バルサム切れはないか、

など商品状態をチェックする必要があるんですね。

コンディション、商品状態が良ければ、中古のカメラやレンズであっても高値で売ることができます。

ただ、これが新品のカメラになると、状態は全て最高なのでコンディションが関係なくなってしまうわけです。大切なのは値段になるでしょう。(配送スピードもありますが、やはり値段です)

なので、中古の商品を扱って価格競争などに巻き込まれないようにしっかり利益を出していきましょう。

商品の状態によっては、値段に開きが出ます。
同じ商品でも、状態によって大きく値段が変わるわけですね。

しっかり安く仕入れて、高値で売れるのが中古商品を扱う最大のメリットになるので、ぜひ実践されてください。

市場規模も大きく非常に中古カメラは仕入れやすいです。

無在庫カメラ転売における MF（マニュアルフォーカス）レンズと AF（オートフォーカス）レンズ

大まかにマニュアルフォーカスは手動でピントを合わせるレンズで
オートフォーカスは自動で、合わせてくれるレンズです。

ではそれぞれの特徴を見ていきましょう、ややこしく見えますが、
対照的になっていますので、片一方を覚えればその反対をイメージしてもら
うことができます。

AF レンズの特徴

- 素早く売れる傾向にある
- 無在庫仕入れが簡単
- 価格の相場変動がある
- 競合が多め

MF レンズの特徴

- 相場が崩れにくい
- 競合が少なめ

利益が出しやすい
無在庫仕入れが AF より困難（流通量、母数も少ない）
売れるまでに時間がかかりやすい傾向
商品数が多いものを見る
価格のメンテナンスを行う

AF レンズの特徴

無在庫カメラ転売でオートフォーカスレンズは扱うべき中古商品の1つです。
オートフォーカスは自動でフォーカスを合わせ、初心者でも簡単にピントの合った写真を撮ることができるわけですね

で、Amazon の利用者はヤフオクよりカメラ知識が少なく、
Amazon で買いたい、素早く手に入れたい、と考える初心者が多いです。

それに対してヤフオクは何とかして安く仕入れたい、と考える人が多く、
商品についても調べている人が多い、という傾向があります。

なので Amazon を使う無在庫転売では、
AF レンズを積極的に扱っていきましょう。

人気商品も多く、売れていくスピードも比較的速いです。
ヤフオクの方が速いですが、無在庫の中では速いです。

値付けをしっかり行っていけばさらに早く売れます、
もし売れない場合は、値付けを変更して下げていきましょう。

人気商品であればかなり仕入れはハードルが低いのがイイですし、
ミスをしなればまず赤字になる事はないですね。

無在庫、中古 AF レンズのデメリットとして考えられるもの

上記のようにメリットがたくさんありましたが、そのメリットは他の人にも同じことが言えて、そのメリットに惹かれて参入者が来やすい状態と言えます。

中古と言ってもその中でも真新しい商品を扱うことが増えるため、値段の変化が多く、Amazon に出品した商品の値段設定を定期的に行っていく必要があるということです。

といってもチェックするだけなので、そこまで圧倒的なデメリットではないかなと思います。Amazon に出品している AF レンズがなかなか売れないと感じた場合は、値段が高い（相場が下がっているため）可能性があるのチェックしていきましょう。

MF レンズの特徴

さきほどの AF レンズと対照的に考えていきましょう。流通量がそこまで多くなく、ハードルが AF レンズより高く、参入者が少ない傾向にあります。

相場の変動も AF レンズより少なく、利益の幅が大きいのが特徴です。マニュアルレンズはカメラ好きにはたまらない一品で一定数の需要があるため、がくんと値段が下がる、ということがないんですね。

中古 AF レンズよりも中古 MF レンズは昔の物、年代品が多く、相場が変わりにくいという特徴があります。

上体の良いものが手に入ればしっかりと利益を取ることができるので利益の幅が広いのもおすすめのポイントですね。

無在庫、中古 AF レンズのデメリットとして考えられるもの

こちら AF レンズとは対照的になり、仕入れのハードルが AF レンズより上がります。商品数、流通量、商品状態のばらつきなどがあるからですね。

有在庫をしているとわかるのですが、一定数ヤフオクで買う層があり、MF レンズなどを定期的にヤフオクでチェックしている人がいて、Amazon よりもヤフオクに多い傾向があります。

といってもあくまで傾向なので、Amazon でも出品して、閲覧者に購入してもらえるよう販売していきましょう。

また、こちら当然と言えば当然なのですが、無在庫販売する前にはしっかりと流通している商品で仕入れ先も存在しているかを確認していく必要があります。

ということで両者の特徴をお伝えしてきました、どちらもメリットデメリットがあるので、そこを抑えたうえで、バランスよく販売していきましょう。

とはいっても、無在庫カメラ転売はひたすら量をこなす

金銭的リスクがないため労力でガンガン稼いで行く
出品資産を増やす、値断設定（相場より少し高め、消費常態によって 2~4 割増）
信頼に値するため、出品数を増やしているアカウントにする。

アマゾンの商品説明は非常に簡単、必要なこと書くのみ
とにかくクオリティより量をこなす、というのがミソ。

で、扱う商品ですが、カメラボディ、カメラレンズ、バッテリーグリップ、ストロボ、アクセサリ関係、などを調べて、量が増えとこんがらがるのでエクセルなどに記録して、メーカー、商品など、ごとに1つ1つクリアしていきましょう。

では

1、新品, 中古かどちらを扱うべき？

2、レンズの種類について

でした。

次回は一番重要な項目の1つである、

出品と値段設定についてです。